

学年	高校3年	教科	国語	科目	国語演習	単位数	2
教科書名	なし			副教材名	共通テスト国語対策問題集 [標準から実践へ 合冊版 (現代文+古典) 改訂版(桐原書店)]		
コース・クラス	特進文系						

I. 目標

大学共通テストに向けた学習に特化することによって応用力を付け、国公立や難関私大の入試に対応できる実戦力を養成する。

II. 授業のねらい

問題演習と解説を主軸にして、出題内容の分析や解答法、周辺知識を学習する。解説を受動的に聞くことに終始せず、自力で考えたり調べたりして能動的な学習活動を展開することを重視する。

III. 授業の進め方

- 1 新大学入試の出題形態を知り、実戦力を養う。
- 2 古文・漢文の理解を深めることで得点源になるようにし、現代文の学習では柔軟な読解と記述ができるようにする。
- 3 iPadの辞書やClassiNoteを活用し、視覚的要素も利用しながら理解を深める。
- 4 小テストを適宜実施し、読解に必要な知識を定着させる。

IV. 学習上の留意点

- 1 予習・復習ともに重視する。自分なりのノート作成に努めること。
- 2 ALにおいて生徒同士相互理解を深めるために積極的に意見を述べる。
- 3 体系古典文法・新明説漢文ノートは、主に自学自習で使用する。
- 4 新国語問題総演習 (即戦ゼミ) は、主に小テストで使用する。

V. 定期試験 (出題分野)

- ・一学期中間試験 … 第1回 (いずれかの大量)、第2回 (いずれかの大量)、初見問題 (現代文または古典)
- ・一学期期末試験 … 第3回 (いずれかの大量)、第4回 (いずれかの大量)、初見問題 (現代文または古典)
- ・二学期中間試験 … 第5回 (いずれかの大量)、第6回 (いずれかの大量)、初見問題 (現代文または古典)
- ・二学期期末試験 … 第7回 (いずれかの大量)、第8回 (いずれかの大量)、初見問題 (現代文または古典)

VI. 評価の方法

- 1 定期試験 … 授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト … 計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物 … 積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	第1回〈第1問～第4問〉 ・適宜演習時間を設ける	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・共通テストの形式と出題内容について知る。 ・古典（古文・漢文）の文法事項を確実に定着させ、読解に生かせるようにする。また、読解に生かせる古典常識の理解を深める。 ・小テストに向けて計画的に学習し、古文単語や漢字などの知識定着を図る。 ・演習時間を活用し、国公立・難関私立大学の過去問に慣れる。
	5			
	6	第3回〈第1問～第4問〉 ・適宜演習時間を設ける		
	7	第4回〈第1問～第4問〉 ・適宜演習時間を設ける		
二学期	9	第5回〈第1問～第4問〉 ・適宜演習時間を設ける	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・共通テストの文章や出題傾向に慣れることで自信をもって本番に臨み、安定した点数を取れるようにする。 ・小テストに向けて計画的に学習し、古文単語や漢字などの知識が定着していることを確認する。 ・演習時間を活用し、国公立・難関私立大学の文章や出題傾向に慣れ、本番で安定した点数を取れるようになる。
	10			
	11	第7回〈第1問～第4問〉 ・適宜演習時間を設ける		
	12	第8回〈第1問～第4問〉 ・適宜演習時間を設ける		

※ シラバスの内容については、理解度やその他の都合により変更することもあります。